

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

**本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。**



あなたの情報(本報告書をご覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)

氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	University of Washington
留学先での所属学部・研究科:	Michael G. Foster School of Business
留学先での在籍身分:	Exchange students
留学期間:	2022年9月28日—2023年6月9日
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2023年6月9日
本報告書記入日:	2023年6月9日

### 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書 (Acceptance Letter) を貰えた日	2022年6月ごろ
	参加必須のオリエンテーション日	9月 27日
	学期:	① 9月28日～ 12月14日
		② 1月3日～ 2月13日
③ 3月27日～ 6月8日		
1-2	留学先入学の特長、人気のある分野等について記入してください。	起業家育成・主体性を意識した教育・ビジネスリーダーの育成・実践的な学び
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	英語トレーニング(国際生向け)があると聞いたが、利用したことはない。
	勉学面でのサポート:	多くの教授は積極的にOffice hourなどを設けて生徒の質問に答えてくれる。
	精神面でのサポート:	カウンセラーがいると聞いたことがあるが、利用したことはない。
	住居・生活面でのサポート:	Resident Adviserと呼ばれる生徒が寮に常駐しており、なんでも相談できる。
1-4	課外活動のサポート:	課外活動には多くのサポートがされており、いろんな活動に参加できる。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

### 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	WillowやOak, Madronaあたりを積極的に選ぶべき。少し高いが安全で非常に過ごしやすいのでおすすめ。設備も他の寮とは質のレベルが異なるので、お金があるのであればこちらを選んだ方がよい。
-----	--------------------------------------	--

### 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮に住む場合、インターネット(Wi-Fi)に関しては何も契約する必要がない。UWの提供する Wi-Fiが非常に使いやすく無料なので、これだけで十分である。ほとんどの時間はキャンパスで過ごすことになるので、携帯の契約も通信料は2-4GB/月程度で十分であろう(私は月1GBも使っていなかった)。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	無料で使用可能。そこそこ重い作業も問題なくできる。
3-2	医療について	医療機関に受診したことがないので確かではないが、PCR検査等は無料でできるはずである。
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	一度も通っていない。衛生状態等もそこまで問題ではないので、日本に住むのと同じ感覚でいても特に問題はない。
3-3	銀行口座等について	キャンパス近くのBank of Americaの店舗にて、Saving accountとCheck-in accountを無料で開設し、デビットカードを作った。
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	Wiseという手数料の安い国際送金サービスを使って、日本で使用していたSMBCのアカウント(JPY)をWiseに送金(JPY)、その後WiseからBofAのアカウント(USD)に送金することでほとんど為替レートと同じ水準で取引ができた。これはおすすめである。基本的に、日本で作ったクレジットカードで決済するのは悪手であり、Wiseで安く送金したUSDを用いてデビットカードで決済するのがベターである。また、現地では現金を持ち歩く必要は限りなくゼロである。従って、渡航後数日は日本のクレジットカードを使用し、できるだけ早くBofAの口座開設→国際送金を行う必要があるだろう。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO給付奨学金(海外留学支援) + JASSO貸与奨学金(留学関係なし)
	支給額(円/月):	給付:8万円/月 + 貸与:12万円/月
	その他(渡航費等の支給):	なし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	行き:73,000円 帰り:150,000円
	住居費:	(月額) 142,333円 (US\$ 1,017) × (留学月数) 9ヵ月 = 1,281,000円
	食費:	(月額) 50,000円 (US\$ 355) + $\alpha$ × (留学月数) 9ヵ月 = 450,000円
	保険料:	73,370円 (9ヶ月分)
	その他:	398,217円 + $\alpha$ (娯楽)
合計(留学期間全体の費用):		2,425,583円(娯楽費やポストン・キャリア・フォーラム参加に関わる費用を抜いた数字です。詳しく知りたい方はEmailまでご連絡ください。また私の購入した料理器具等、続けて使用できるものは友人に頼んで残していこうと思います。ご興味のある方もご連絡いただければと思います。)
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	授業で呼ばれたゲストの方々とLinkedinを交換してキャリアの相談をしたり、アイスクリームビジネスを通してさまざまな現地のビジネスパートナーたちとコネクションを築けた。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	UWFA投資チームにてConsumer Discretionaryセクターの担当アナリストとしてストックピッチを行い、実際のお金を運用するファンドにて投資対象として選ばれた。またFIN465 Asset Managementという授業にてTeaching Assistantを務め、宿題やテストのGrading、Office hourでの質問対応などを行なった。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	MicrosoftやCostco、Amazonなどの巨大企業の本社が立ち並ぶ大都市であり、なんでも基本的に揃っている。大学近くのThe aveは治安が悪いので、夜2時以降は絶対に道を歩いてはいけない。また都市部のPioneer squareやInternational districtは非常に治安が悪いので注意が必要。電車にもたくさん怪しい人が乗っている。キャンパスの周りでも銃事件は何度も発生している。とはいえ、寮に住む限りはほとんど安全である。また私個人としては9ヶ月間生活をしていて、差別等にあつたことは一度もなかった。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ポストン・キャリア・フォーラムでの就職活動をメインに行った(主に9月から11月頃までは多数のオンライン面接で忙しかった)。その後は出会った友達や先生からの紹介でシアトルでのオフィス訪問等を行ったりもした(Russell Investmentなど)。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	食事のマナー(店員さんと呼ぶ時の動作)、日常で使用する英語など、KIBERで習うことのないカジュアルな英語は行きの飛行機で勉強しておくべきだろう。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	耳かき、Airtag (Apple製品)、コンタクトレンズ・メガネ等であろうか。大学近くにDAISOやH martというアジアンマーケットがあるので、基本的に現地でも揃うと思った方がよい。ただし、物価高を考慮して日本で購入の方が安い場合がほとんどなので、生活に必要なものはできるかぎり日本で揃えて持っていくのが無難(航空機の荷物重量制限には注意)。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	まず確実に英語力が上がった。授業でただ使用しているだけなのと、現地で英語だけで生活をし、友達を作るのとは英語学習の質がまるで異なる。また現地で様々な国からきた友人を作ることで、現在起きている社会問題に対する意識が変化した。そして、より多くの金融業界志望者・経験者と関わることで、業務の実態やキャリアの広げ方などについて大きな学びがあったとともに、自分のネットワーク拡大にも成功した。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( ) 点 → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	深夜までアイスクリームを借りたキッチンで製造していたところ、何かがキッチンのドアを1時間ほどノックし続け、怖かったので警察を呼んだということが一度あった。結局ノックしていたのは薬物を使用していた女性で、特に武器を持っていたわけではなかったので私たちは無事だった。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切であった。経済的な事情で留学の継続が困難になる事態になりかけたが、奨学金についての情報提供のサポートもしていただいた。
7-6	本留学プログラムを先輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	経済的に余裕がある、あるいは奨学金によって費用を賄える人で、主体的に自らチャンスを作り出して行動できるような人にはUWは非常にお勧めである。経済的に余裕のない人に関しては無理せず、他の安く留学できる場所を選ぶべきである。そして治安の悪いところは怖いという人や、旅行をたくさんして楽しみたいという人にもおすすめできない。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	2
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	2
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思ひ、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	4	

## 8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

これからUWIに行く人/興味がある人へのアドバイスは大きく3つある。1) やらないで感じる後悔よりは、やっちゃってから後悔するような選択をするべきである。留学直前に、UWのFinance系のクラスで過去に単位を落とした先輩がいたと聞いて、私は非常に不安な気持ちでいた。しかしファイナンスをどうしても勉強したかったので、ハイレベルそうな授業とわかってはいたが、一回挑戦してみることにした。一番最初に履修したFIN465は内容が非常に難しく、テストも本当に難しかった。ところが何度もOffice hourに通い、わからないことを一生懸命質問して勉強していくうちに、気がついてしっかりと内容を理解し、そこそこいい成績も取ることができていた。今となっては、「ハイレベルそうだから」という理由であの授業を履修していなければ、その後手に入れた様々なチャンスをみすみす逃していたことになるので、チャレンジしないのは勿体ないことだなと感じている。他にも、UW関連の様々なイベントや友人からの食事の誘いなど、様々な「なんとなくやる気がでない/興味が薄い」ことに直面した時は、何も考えず参加することをお勧めする。これも同じことで、そうしたものは一度やってみないと、そこにどんなチャンスが転がっているか分からないものである。後で後悔しても遅いので、何事も一度やってみてから考えるという行動パターンを意識した方が良い。2) 先生・クラスメート・その他いろんな人とにかく積極的に話しかけるべきである。とにかく、9ヶ月という短い時間の中でいかに偶然の巡り会いを大切にできるかがネットワークを広げる鍵である。UWでは日本にいたら一生出会うことのなかったような人に出会うことも出来るため、これは非常に貴重なチャンスである。また、よほど不自然な感じじゃない限り積極的に話しかけられて嫌に思う人はいないので、多少積極的に話しかけても問題はない。また上に少し述べた通り、アジア人だからといって、ましてや日本人だからといって差別されたり別扱いされることはほとんどない。ここでは自分をしっかりと持って、堂々と自信を持ってコミュニケーションをすれば大丈夫である。3) 高い留学の費用を、投資と割り切って受け入れてしまうことは大事である。周りのKIBERの友人の話を知っていると、UWへの留学が最も高額である。それゆえに留学期間中は生活費を捻出することに必死で、旅行等の娯楽の余裕はなかった。その際JASSOより貸与奨学金を融通いただいで費用を賄っていたわけであるが、これは後ほど利息とともに返還の必要のある奨学金である。しかし、留学を終えた今だから言えるが、UWで得たものは非常に大きく、今後のキャリアの中で確実にポジティブに作用していくと思われる。その経験的価値を考慮すれば、250万円の借入金による留学はファイナンス的にいうとレバレッジがかかった投資活動であり、今後大きな現金収入等が見込めれば、後で借入金を返済すればいいだけのことである。それくらいの割り切った気持ちをもって、一生懸命UWでの活動に取り組んでほしい。いろんな国を旅行するのも非常に魅力的であるが、チャンスに溢れたシアトルの地で、たくさんの人に出会い、たくさんのもを経験して自分の投資価値を高めるというアプローチも魅力的であると思う。「高いからやめておこう」ではなく、「高いけど、なんとかしてUWで勉強したい!」という熱を持って留学を楽しんでほしいと思う。(追記) UWIにいる間、Linkedinというアプリを多用することになるので、セットアップしておくべきです。何か質問等あれば、そのLinkedinやEmail等でお気軽にご連絡頂ければと存じます。

## あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください!

9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	FIN 423 Financial and banking system	Florian Schuiz	4	4	English	10人	金融システムの授業にかなり近い。内容は金融経済学をシンプルなモデルを用いて学ぶ感じ。ケースの分析等の宿題は比較的難しくないが、中間と期末テストが非常に難しい。テストが難しすぎるという意味で有名な授業である。
2	FIN 454 Business valuation	Lea H. Stern	4	4	English	50人	Valuationの授業。毎回の内容をしっかり理解していないと、最終プレゼンで非常に苦戦することになる。この授業は絶対に最初に受けた方がよい。他のどの授業でも生きるスキルがつく。
3	FIN 458 Mergers and Acquisitions	Dowon Levit	4	4	English	50人	M&Aについて広く学ぶ授業。最終プロジェクトでValuationが必要なので、バリュエーションができない人はやり方を学んだ後に後に履修した方がよい。扱ったケースもM&Aの提案も面白かった。
4	FIN 465 Asset management	Michael Thomas	4	4	English	50-60人	資産運用業界の実務と理論の違いに焦点を当てつつ、リアルな運用者の視点を教えてもらえる。かなりHWと日々のリーディングが多くFINでは最もしんどいクラスと言われている。しかしそれを乗り越えると沢山の学びがある。Monte Carlo simulationに触れられる。
5	FIN 490 Sustainable finance and the real economy	Phillip Bruner	4	4	English	50人	UWでは珍しいサステナビリティ系のFIN授業。環境系に特化したファイナンスの事象を取り扱う。最終プロジェクトではRenewable energy projectのお題が与えられて、その推奨ピッチを行う。
6	ENTRE 457 Entrepreneurship finance	Susan Preston	4	4	English	15人	Entrepreneurと言いつつ、ガッツリMatureな企業の財務分析もやる。というより、財務分析のクラスといっても過言ではない。ModelingとAccountingの良い復習になる。
7	ENTRE 459 Venture investing	Vani Rao	4	4	English	20-30人	VCにいる方から投資先スクリーニングの論点や起業家とのコネクションの築き方を教わる。最後はシアトルにあるスタートアップを選び、VCに資金調達のパitchをする。
8	ENTRE 472-473 Creating a company	Valerie Trask	4	4	English	20人	様々な起業家のゲストが招かれ、起業の仕方を実体験ベースで学ぶ。最後には投資家へのpitchがあり、実際に自分の考えたビジネスで資金調達ができる。また冬クォーターは実際に資金を運用してビジネスを行なっていく。休日関係なく、とにかく積極的に目の前の問題に取り組むべし。
9	I BUS 491 CISB Japanese track	Hiroki Onitsuka	1	1*3 quarters	English + Japanese	20人	日本語を学び、経営学で日本に留学する志を持つ仲間と出会うため絶対に履修した方がよい。ケースコンペやディベートは楽しかった。
10							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的には少人数で、沢山の課題とプレゼンテーション、授業参加などが成績評価の大部分を占める。期末試験が課されるパターンも多いが、先に述べたものにフォーカスして、先生に顔を覚えてもらう方が(質問もしやすくなって)、長期的には学習効果が高くなると思う。現地学生の取り組みは、授業によってまちまちである。全員が熱意をもって一生懸命取り組む授業もあれば(FIN 465など)、あまり生徒が授業にこず、先生が悲しそうにしているものもある。しかしどんな授業であっても、UWで教鞭をとられている先生方はすごい方々ばかりなので、積極的に発言し、Office hourにも顔を出してコミュニケーションを取るべきである。お願いすればキャリアの相談であったり、就職活動の悩みの相談といったことも引き受けてくださる方が多いと思う。また私の場合、もう一度授業の内容を復習したい/授業をサポートしたいということで、FIN 465においてはTeaching Assistantを任せてもらったりと、そうしたイレギュラーなことも先生に頼めば実現可能であった。UWFAの投資チームの存在を知ったのも、アセットマネジメント会社を訪問できたのもその先生のおかげだったので、新しい機会を見つけるために先生とコミュニケーションをとっておくのは重要である。もちろん先生だけでなく、授業で出会うクラスの仲間との絆を深めておくことも大事である。ENTRE 472-473では二ヶ月間、ほぼずっと同じメンバーで週何回も顔を合わせ、実際にビジネスを進めていくこととなる。そうしてできたメンバーとの絆は一生ものであり、将来どこかでお互い協力しあえるような関係性ができたと思うので、クラスメートと交流するのも大事にした方がよい。そして多くの現地の学生は、何かに熱心に取り組んできた面白い人が多いので、積極的に相手のバックグラウンドを知り、時間を一緒に過ごすようにした方が、留学生活がより楽しくなると思う。